

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

国立映画アーカイブではこの秋、日本とオーストリア、ハンガリーの国交樹立 150 周年を記念し、駐日オーストリア大使館および駐日ハンガリー大使館と共同で、両国の映画を特集する上映会「日澳洪国交樹立 150 周年 オーストリア映画・ハンガリー映画特集」を開催いたします。

日澳洪国交樹立 150 周年 オーストリア映画・ハンガリー映画特集

Films from Austria and Hungary — Celebrating 150th Anniversary of the Diplomatic Relations with Japan

2019年10月10日(木)－10月20日(日)*月曜休館

会場:国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU

主催:国立映画アーカイブ、駐日ハンガリー大使館、駐日オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム東京

協力:Hungarian National Film Fund - Film Archive(ハンガリアン・ナショナル・フィルム・ファンド=フィルムアーカイブ)

本年は、日本とオーストリア＝ハンガリー二重帝国が修好通商条約に調印してから 150 年にあたります。同帝国の歴史は第一次世界大戦の結果幕を閉じますが、その後それぞれ共和制へと移行したオーストリアとハンガリーは、激動の時代を経ながら、日本との友好関係を築いてきました。

本特集では、当館所蔵の日本語字幕付きプリントを中心に、さらに両大使館の提供による作品も加え、オーストリア映画・ハンガリー映画をそれぞれ5プログラムずつ(計10プログラム)上映いたします。



メリー・ゴー・ラウンド (C) Schandl Teréz



未完成交響楽 (C) Filmarchiv Austria



君の涙 ドナウに流れ ハンガリー1956
(C) Cinergi Pictures Entertainment Inc. InterCom Zrt

➤ オーストリア映画は、輝かしい音楽の歴史をもつオーストリアならではの歌や音楽の魅力溢れる『幼な心』や『未完成交響楽』に加えて、80年代感たっぷりなアレンジのミュージカル×犯罪コメディ『ミューラー探偵事務所』も上映し、多彩な音楽を楽しむことができます。さらに、今年生誕100年を迎えた映像作家マリア・ラスニヒの作品集や、映像コラージュ『映画に必要なのは女と銃だけだ』など、女性やその身体をテーマにしたオーストリアの個性的な映画作家たちによる実験的作品も上映し、オーストリア映画の幅の広さを体感できるプログラムとなっています。

➤ ハンガリー映画は、社会の厳しい現実の中で生きるカップルを、伝説的なダンスシーンを含む鮮烈な映像で描いた『メリー・ゴー・ラウンド』や、ハンガリーを代表する映画監督コーシャ・フェレンツが、第二次世界大戦末期と1956年のハンガリー動乱というハンガリー現代史にとって重要な2つの時期を、一つの家族の3世代に渡る受難の歴史として描き、映画史に燦然と輝く219分の大作として結実した『もうひとりの人』も上映。ほかにもハンガリー動乱と同年に開催されたメルボルン・オリンピックでのハンガリー対ソ連の水球の試合「メルボルンの流血戦」を描く『君の涙 ドナウに流れ ハンガリー1956』など、ハンガリーの激動の歴史に根差した作品を多く上映します。

国交樹立150周年の節目に、両国の映画を観てその文化や歴史にふれられる機会となりますので、ぜひ本特集をご紹介いただき、周知へのご協力を賜りますと幸いです。

※今特集では、ハンガリー人の人名のみ「姓・名」の順に表記しています。

次ページにつづく

広報画像や特集詳細に関するお問合せ

国立映画アーカイブ上映展示室 白鳥・具・玉田 TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 MAIL:pr@nfaj.go.jp

▼作品リスト▼ (計 10 プログラム・16 作品)

*「マリア・ラスニツ作品集」および「映画に必要なのは女と銃だけだ」以外は、すべて日本語字幕が付いています。

〈オーストリア映画〉

1.『幼な心』 Kleines Herz in grosser Not (91 分、1958、監:アルフレート・レーナー)

上映日時:10 月 10 日(木) 19:00/10 月 18 日(金) 15:00

2.『未完成交響楽』 Das Dreimäderlhaus (93 分、1958、監・脚:エルンスト・マリシュカ)

上映日時:10 月 12 日(土) 13:00/10 月 17 日(木) 15:00

3.『ミューラー探偵事務所』 Müllers Büro (104 分、1986、監・脚・出:ニキ・リスト)

上映日時:10 月 12 日(土) 16:00/10 月 18 日(金) 19:00

4.「マリア・ラスニツ作品集」 Filme von Maria Lassnig (計 64 分)

上映日時:10 月 11 日(金) 19:00/10 月 20 日(日) 16:00

『アイリス』 Iris (10 分、1971) 『カップルズ』 Couples (9 分、1972) 『自画像』 Selfportrait (4 分、1971)

『手相』 Palmistry (10 分、1974) 『芸術教育』 Art Education (8 分、1976) 『バロックの彫像』 Baroque Statues

(15 分、1974) 『マリア・ラスニツのパラッド』 Maria Lassnig Kantate (8 分、1992、共同監督:フーベルト・ジーレッキ)

5.『映画に必要なのは女と銃だけだ』 Film Ist. a Girl & a Gun (101 分、2009、監・脚:グスターフ・ドイチュ)

上映日時:10 月 15 日(火) 19:00/10 月 20 日(日) 13:00



ミューラー探偵事務所 (C) WEGA-Film



マリア・ラスニツのパラッド

〈ハンガリー映画〉

6.『メリー・ゴー・ラウンド』 Körhinta (93 分、1955、監・脚・美:ファブリー・ゾルターン)

上映日時:10 月 13 日(日) 11:00/10 月 17 日(木) 19:00

7.『もうひとりの人』 A másik ember (219 分、1988、監・脚:コーシャ・フェレンツ)

上映日時:10 月 13 日(日) 14:00/10 月 16 日(水) 13:30

8.『私の 20 世紀』[4K レストア版] Az én XX. századom (103 分、1989、監・原・脚:エニエディ・イルディコー)

上映日時:10 月 10 日(木) 15:00/10 月 19 日(土) 13:00

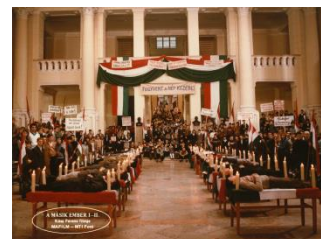
配給:サンリス

9.『君の涙 ドナウに流れ ハンガリー1956』 Szabadság, szerelem (120 分、2006、監:ゴダ・クリステイナ)

上映日時:10 月 11 日(金) 15:00/10 月 16 日(水) 19:00

10.『悪童日記』 A nagy füzet (112 分、2013、監・脚:サース・ヤーノシュ)

上映日時:10 月 15 日(火) 15:00/10 月 19 日(土) 16:00



もうひとりの人 (C) Kalászi György



私の 20 世紀 [4K レストア版]
(C) Bartók István

■開催概要

日頃洪国交樹立 150 周年 オーストリア映画・ハンガリー映画特集

Films from Austria and Hungary — Celebrating 150th Anniversary of the Diplomatic Relations with Japan

【会期】2019 年 10 月 10 日(木) - 10 月 20 日(日) * 月曜休館

【会場】国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU(2 階)

【主催】国立映画アーカイブ、駐日ハンガリー大使館、駐日オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京

【協力】Hungarian National Film Fund - Film Archive(ハンガリアン・ナショナル・フィルム・ファンド=フィルムアーカイブ)

【料金】一般 520 円/高校・大学生・シニア 310 円/小・中学生 100 円/障害者(付添者は原則 1 名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

* 9 月 24 日(火)10 時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各 150 席分)を販売します。【P コード:550-377】

【お問い合わせ】03-5777-8600(ハローダイヤル) 【ホームページ】<https://www.nfaj.go.jp/exhibition/austriahungary201909/>

広報画像や特集詳細に関するお問合せ

国立映画アーカイブ上映展示室 白鳥・具・玉田 TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 MAIL:pr@nfaj.go.jp